

矢高矢暮 （おとむら） 俳人。明治二十年一月二十八日長野縣飯田生れ、昭和
二十四年十一月一日歿（八九七一九四）。本名實。大正八年東京高等商
業學校卒。富士新報株式會社入社、各地の工場長を歴任。父壽舟は上
原三川等の新俳句運動に参加した俳人（昭和九年一月十五日歿）。自
らも俳誌『木下トギス』、『櫻』等に参加。大分で俳誌『甲木の實』を
主宰した。

遺句文集、追憶録を収めた『矢高矢暮』（小林郊人編、昭和二十六年
六月十五日長野・甲陽書房）がある。

